

令和6年度 事務事業評価一覧

No.	所管課名	事務事業名	事務事業の目的	令和6年度の主な取組	支出合計 (千円)	指標名 (単位)	目標値	実績値	中長期的 方向性
1	協働推進課	国際化推進事業	外国籍市民が暮らしやすい生活環境をつくるとともに、国際感覚豊かな市民の育成に努める。	①外国籍市民生活相談の実施(週5日) (月・金)午後1時から午後4時まで／(火・水・木)午前10時から午後4時まで ②外国語版生活ガイドホームページの更新(英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・ベトナム語・日本語) ③外国語版生活ガイドブックの作成(英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・ベトナム語・ネパール語・やさしい日本語) ④ワンナイトステイ事業(県事業)への協力	4,329	ワンナイトステイ事業への協力世帯数(世帯)	5	3	継続
						外国籍市民の生活相談件数(件)	350	310	
2	協働推進課	平和推進事業	戦争の悲惨さ、平和の大切さを市民とともに発信し、誰もが安全で安心な生活を営むことができる平和な世界の実現を目指すことを目的とする。	市民参加による平和推進事業の実施 ふじみ野市平和推進事業実行委員会において、「令和6年度ふじみ野市平和祈念フェスティバル」の開催内容を企画していただいた。 フェスティバル当日(9月28日)は、実行委員会運営の下、講演会、コンサート、パネル展示を実施した。 また、NPO法人ノレスチナ子どものキャンペーン所有のパネル展を大井総合支所1階展示スペース(9月9日～9月20日)と、市役所本庁舎ギャラリー(9月24日～9月27日)で開催した。	2,490	フェスティバルの来場者数(人)	160	121	継続
3	市民総合相談室	人権推進事業	人権の世紀と言われる21世紀を差別や偏見のない心の通い合う明るい社会にするため、人権問題に対する教育・啓発を推進する。同和問題、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人などの人権問題について市民一人ひとりが理解を深め、互いの人権を尊重する地域社会をつくることを目的とする。	人権問題市民・企業講演会及び人権・同和問題職員研修会の実施 川越人権擁護委員協議会入間東部部会の活動支援	10,907	人権問題市民・企業講演会参加者数(人)	50	48	継続
						人権・同和問題職員研修会参加者数(人)	50	34	
						人権問題に関する講演会等参加者の関心度、理解度アンケート(市民総合相談室事業分)(%)	96.00	97.80	
4	市民総合相談室	男女共同参画推進事業	男女共同参画社会を実現するため、ふじみ野市第2次男女共同参画基本計画に基づき進行管理を行い、男女共同参画意識の啓発及び庁内の男女共同参画施策の推進を図る。	・審議会等の女性委員の登用促進に向けた取組について検討し、令和7年3月に「ふじみ野市における審議会等への女性委員登用促進方針」を策定した。 ・災害時の避難所における性暴力防止の啓発活動として啓発ポスターを作成し、総合防災訓練で各避難所に掲示した。 ・埼玉県内の市町村とパートナーシップ制度に係る連携に関する協定を締結した。	11,426	審議会等女性委員の割合(%)	40.00	34.70	継続
						ふじみ野市男女共同参画のまちづくり委託事業の参加者数(人)	200	178	
5	社会教育課	人権教育・平和推進事業	人権問題の講座や研修会を開催し、市民の人権意識の高揚を図る。 憲法、教育基本法に基づき平和を希求し、平和を主体的に創造する市民意識の高揚を図る。 人権や平和の大切さを市民とともに発信し、誰もが安全で安心な生活を営むことができる世界の実現を目指す。	1 人権教育事業 ふじみ野市人権教育推進協議会の主催事業として、研修会2回(7月6日、10月26日)、人権週間啓発キャンペーン(12月6日)のほか、人権教育親子映画会(8月21日)を今年度初めてステラ・ウェストホールを会場として2回上映した。また、市・市教育委員会・同協議会の共催事業として、人権講演会(2月2日)をウクライナ出身の歌手ナターシャ・グジーさんのコンサートというかたちで実施した。 2 平和推進事業 実行委員会形式による「ふじみ野市平和祈念フェスティバル」を9月28日に協働推進課と共催で実施した。	4,340	人権問題に関する講演会等参加者の関心度、理解度(%)	96.00	96.50	継続
						人権教育推進協議会主催事業(講演会・映画会)参加者(人)	1,100	834	